

第4回 21世紀成年者縦断調査
国民の生活に関する継続調査
〔女性票〕

(平成17年11月2日調査)

厚生労働省

地区番号					単位区番号			世帯番号		
出生年月	昭和		年		月生					

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間(平成16年11月～17年10月)に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2 病気やケガの治療のため入院した
平成 年 月～平成 年 月
3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業(農業を含む)の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている	▶補問2-1～2-7へ お進みください
2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である	
3 仕事についていない	
1 家事に従事している 2 通学している 3 その他	▶問3へお進みください

補問2-1 現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 複数の仕事についている	補問2-2～2-5は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2 ひとつの仕事にのみについている	

補問2-2 現在についている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。（補問2-7まで同様です。）

1 会社などの役員・自営業主	勤め先における呼称を基準にお答えください。 雇用保険（失業保険）に加入していますか。 あてはまる番号1つに○をつけてください。 <table border="1"> <tr><td>1 している</td></tr> <tr><td>2 していない</td></tr> <tr><td>3 わからない</td></tr> </table>	1 している	2 していない	3 わからない
1 している				
2 していない				
3 わからない				
2 自家営業の手伝い				
3 自宅での貸仕事（内職）				
4 正規の職員・従業員				
5 アルバイト				
6 パート				
7 労働者派遣事業所の派遣社員				
8 契約社員・嘱託				
9 その他				

補問2-3 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

補問2-4 どのような職業ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

01 専門的・技術的な仕事	05 サービスの仕事	09 生産工程・労務作業の仕事
02 管理的な仕事	06 保安の仕事	10 その他の仕事
03 事務の仕事	07 農林漁業の仕事	
04 販売の仕事	08 運輸・通信の仕事	

補問2-5 現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1 昭和	2 平成		年		月
------	------	----------------------	---	----------------------	---

補問2-6 就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の就業時間	通常		時間
1週間の勤務日数	通常		日
1日の通勤時間	通常片道（往き）		時間 分

※ ふだんの1週間の就業時間について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※ 日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

補問2-7 現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている	
1 学業が主である	→ 問3へお進みください
2 仕事の主である	→ 問4へお進みください
3 通っていない	→ 問4へお進みください

問3は、問2で「仕事についていない」とお答えになった方と補問2-7で「学業が主である」とお答えになった方のみお答えください。それ以外の方は問4へお進みください。

問3 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。

1 思っている	→ 補問3-1、3-2へお進みください
2 思っていない	→ 問4へお進みください

補問3-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主	4 正規の職員・従業員	7 契約社員・嘱託
2 自家営業の手伝い	5 アルバイト・パート	8 その他
3 自宅での賃仕事(内職)	6 労働者派遣事業所の派遣社員	

補問3-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 している	2 していない
--------	---------

問4は、すべての方がお答えください。

問4 あなたは、この1年間（平成16年11月～平成17年10月）に所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）をやめた経験がありますか。（仕事をやめた後、現在別の仕事についている場合も含みます。）あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 やめた経験がある 2 やめた経験がない -----▶ 問5へお進みください

補問4-1 この1年間（平成16年11月～平成17年10月）にやめた仕事（学生アルバイトも含む。）について、その仕事についていた期間と就業形態をお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についていた期間 〔仕事についていた時期の早いものから順に記入してください。欄が足りない場合は、余白にご記入ください。〕	就業形態（あてはまる番号1つに○をつけてください。）								
		会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での貸仕事（内職）	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所派遣社員	契約社員・嘱託	その他
1	1 昭和 年 月～ 平成 年 月 2 平成 年 月～ 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	平成 年 月～ 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	平成 年 月～ 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	平成 年 月～ 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9

補問4-2は、1年前についていた仕事をその後、やめた方のみお答えください。
（現在、別の仕事についている方も含みます。）
それ以外の方は、問5へお進みください。

補問4-2 1年前（平成16年11月4日現在）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事についてお答えください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 01 自分の希望する仕事ではなかったから | 14 健康がすぐれなかったから |
| 02 能力・実績が正当に評価されなかったから | 15 家族の介護のため |
| 03 給与・報酬が少なかったから | 16 家族が転勤したから |
| 04 労働時間が長かった・休暇が少なかったから | 17 育児休業がとりにくかったから |
| 05 独立・起業のため | 18 会社から出向・転籍を命じられたから |
| 06 通勤時間が長かったから | 19 希望退職に応じたから |
| 07 転勤が多かったから | 20 倒産したから |
| 08 一時的・不安定な仕事だったから | 21 解雇されたから |
| 09 人間関係がうまくいかなかったから | 22 契約期間が満了したから |
| 10 会社の経営方針に不満を感じたから | 23 初めから短期のつもりだったから |
| 11 事業又は会社の将来に不安を感じたから | 24 新しい仕事が見つかったから |
| 12 結婚したから | 25 勉強のため |
| 13 出産・育児のため | 26 その他（ ） |

主なものの番号記入欄

問5は、現在、会社等にお勤めの方（アルバイト、パート等も含む）のみお答えください。現在休業中の方も含みます。

それ以外の方は、問6へお進みください。

問5 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどう ですか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

問6、問7は、この1年間に会社等にお勤めの経験がある方（アルバイト、パート等も含む）で、かつ、この1年間に小学校入学前だったお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。（現在、仕事についていない方も含みます。）

それ以外の方は、問8へお進みください。

問6 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの 会社等での利用 (注)	以前にお勤めの 会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除はこちらに含まれ ます。)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問6-1 この育児休業を取
得した期間（現在休業中の場合
は予定期間）を記入してください。

平成 年 月から
平成 年 月まで

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問7 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ → 日

2 休んでいない

補問7-1 お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等 で休んだ日数 (注)	以前にお勤めの会社等 で休んだ日数
1 年次有給休暇	日	日
2 子の看護のための休暇制度	日	日
3 欠勤扱い	日	日
4 その他	日	日

注「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問8～問10は、すべての方がお答えください。

問8 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した → 平成 年 月 →

2 中退した → 平成 年 月 →

3 入学した → 平成 年 月 →

4 上記1～3のようなことはなかった

1 中学校	4 短大・高専	7 その他
2 高校	5 大学	
3 専門学校	6 大学院	

問9 この1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次のような出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、結婚・離婚や配偶者には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含まれます。（以下の問についても同様です。）

1 結婚した →

2 離婚した

3 配偶者と死別した

4 上記1～3のようなことはなかった

配偶者の生年月 昭和 年 月生

同居を開始した年月 平成 年 月

問10 現在、配偶者はいますか。

1 いる-----▶ 現在、配偶者と同居していますか。		
<table border="1"><tr><td>1 同居している -----▶ 補問10-1へお進みください</td></tr><tr><td>2 同居していない ----▶ 問12へお進みください</td></tr></table>	1 同居している -----▶ 補問10-1へお進みください	2 同居していない ----▶ 問12へお進みください
1 同居している -----▶ 補問10-1へお進みください		
2 同居していない ----▶ 問12へお進みください		
2 いない-----▶ 問11へお進みください		

補問10-1 あなたの配偶者はふだん家事・育児を行っていますか。

1 している	2 していない
--------	---------

↓
問12へお進みください

問11は問10で「配偶者がいない」とお答えになった方のみお答えください。

問11 今後、結婚したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対したい	4 あまりしたくない
2 なるべくしたい	5 絶対したくない -----▶ 問12へお進みください
3 どちらとも言えない	

〔補問11-1、11-2は、所得を伴う仕事がある方のみお答えください。現在、休業中（育児休業、介護休業など）の方も含みます。それ以外の方は、問12へお進みください。〕

補問11-1 結婚した後も現在の仕事を続けますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 結婚した後も続ける	2 結婚を機にやめる	3 考えていない
-------------	------------	----------

補問11-2 結婚と仕事に関して、次のようなことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1 結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる
2 会社に結婚後働き続けにくい雰囲気がある
3 上記1、2のようなことはない

問12～問18はすべての方がお答えください。

問12 子どもが（すでにいる場合は、もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対欲しい	全部で何人欲しいですか。（すでにいるお子さんも含めてください。） 人
2 欲しい	
3 どちらとも言えない	
4 あまり欲しくない	
5 絶対欲しくない	

補問12-1、12-2は、所得を伴う仕事がある方のみお答えください。現在休業中（育児休業、介護休業など）の方も含みます。それ以外の方は問13へお進みください。

→ 問13へお進みください

補問12-1 出産した後も現在の仕事を続けますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|------------|----------|
| 1 出産した後も続ける | 2 出産を機にやめる | 3 考えていない |
|-------------|------------|----------|

補問12-2 出産と仕事に関して、次のようなことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------|
| 1 配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる |
| 2 会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある |
| 3 上記1、2のようなことはない |

問13 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平 日		時間		分	休 日		時間		分
-----	--	----	--	---	-----	--	----	--	---

問14 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

	人（ご本人は含みません）
--	--------------

問15 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、(1)、(2)のみお答えください。）

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

問16 お子さんはいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる

2 いない-----▶問17へお進みください

補問16-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。(7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。)

同居しているお子さんについて
お答えください。

小学校入学前のお子さんについて
お答えください。

すべてのお子さんについて
お答えください。

性別	出生年月	同居の別	現在の放課後児童(学童)クラブの利用の有無	現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。								現在、平日の日中、世話をしている家族等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。								
				認可保育所(園)	事業所内託児施設	認可外保育施設(事業所内託児施設を除く)	ベビーシッター・保育ママ	ファミリー・サポート・センター	幼稚園が行っている預かり保育	幼稚園(預かり保育を除く)	利用していない	あなた	配偶者	あなたの父	あなたの母	配偶者の父	配偶者の母	その他の家族・親族	その他(友人・知人等)	いない (保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます。)
1 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
2 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
3 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
4 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
5 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
6 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	

補問16-2 子育てについて負担を感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 大いにある

2 多少ある

3 それほどでもない

4 ない

問17 あなた（現在配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）が平成16年1年間に働いて得た所得（税込み）及びその他の所得についてお答えください。

あなたと配偶者又はその他の家族で分けられない所得がある場合には、「(3) 分けられない所得」欄にまとめた金額を記入してください。

配偶者が別居している場合には、「(1) あなたの所得」と「(3) 分けられない所得」のみお答えください。

	平成16年1年間の所得		
	(1) あなたの所得	(2) 配偶者の所得	(3) 分けられない所得
働いて得た所得 (税込み)	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか 1 あなたと配偶者 2 あなたとその他の家族 3 配偶者とその他の家族 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし
その他の所得 (親からの仕送り、 家賃・地代等の財産 収入、利子・配当金、 児童手当・雇用保険 からの育児休業給付 等の社会保障給付金 などを含みます。)	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか 1 あなたと配偶者 2 あなたとその他の家族 3 配偶者とその他の家族 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし
	うち、児童手当受給の有無 1 あり 2 なし		

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。

2) わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

問18 あなた（現在配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）が平成17年10月の1か月間に支出した額を下欄に記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成17年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 (2)、(3)を含む	万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用)	1 あり ↓ 金額 万 千円
	2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 (幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用)	1 あり ↓ 金額 万 千円
	2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。
 2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、
今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部

社会統計課縦断調査室

電話 (03)3595-2413

Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

※平成 17 年 7 月 1 日より国民生活基礎調
査室から上記へ組織名が変更になり、
電話番号が変わりました。



総務省承認 No. 26085
承認期限 平成18年3月31日まで

第4回 21世紀成年者縦断調査
国民の生活に関する継続調査
〔男性票〕

(平成17年11月2日調査)

厚生労働省

地区番号					単位区番号			世帯番号			
出生年月	昭和		年		月生						

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間(平成16年11月～17年10月)に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2 病気やケガの治療のため入院した 平成 年 月～平成 年 月
3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業(農業を含む)の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている	▶ 補問2-1～2-7へ お進みください			
2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である				
3 仕事についていない				
<table border="1"><tr><td>1 家事に従事している</td></tr><tr><td>2 通学している</td></tr><tr><td>3 その他</td></tr></table> ▶ 問3へお進みください		1 家事に従事している	2 通学している	3 その他
1 家事に従事している				
2 通学している				
3 その他				

補問 2-1 現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 複数の仕事についている	補問 2-2～2-5 は、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2 ひとつの仕事にのみについている	

補問 2-2 現在についている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。（補問 2-7 まで同様です。）

1 会社などの役員・自営業主	勤め先における呼称を基準にお答えください。 雇用保険（失業保険）に加入していますか。 あてはまる番号 1 つに○をつけてください。 <table border="1"> <tr><td>1 している</td></tr> <tr><td>2 していない</td></tr> <tr><td>3 わからない</td></tr> </table>	1 している	2 していない	3 わからない
1 している				
2 していない				
3 わからない				
2 自家営業の手伝い				
3 自宅での賃仕事（内職）				
4 正規の職員・従業員				
5 アルバイト				
6 パート				
7 労働者派遣事業所の派遣社員				
8 契約社員・嘱託				
9 その他				

補問 2-3 従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

1 1～4人	4 100～299人	7 1000～4999人
2 5～29人	5 300～499人	8 5000人以上
3 30～99人	6 500～999人	9 官公庁

補問 2-4 どのような職業ですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

01 専門的・技術的な仕事	05 サービスの仕事	09 生産工程・労務作業の仕事
02 管理的な仕事	06 保安の仕事	10 その他の仕事
03 事務の仕事	07 農林漁業の仕事	
04 販売の仕事	08 運輸・通信の仕事	

補問 2-5 現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1 昭和	2 平成	年	月
------	------	---	---

補問2-6 就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の就業時間	通常		時間
1週間の勤務日数	通常		日
1日の通勤時間	通常片道（往き）		時間 分

※ ふだんの1週間の就業時間について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※ 日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

補問2-7 現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

通っている	
1 学業が主である	-----> 問3へお進みください
2 仕事の主である	-----> 問4へお進みください
3 通っていない	-----> 問4へお進みください

問3は、問2で「仕事についていない」とお答えになった方と補問2-7で「学業が主である」とお答えになった方のみお答えください。それ以外の方は問4へお進みください。

問3 あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。

1 思っている	-----> 補問3-1、3-2へお進みください
2 思っていない	-----> 問4へお進みください

補問3-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 会社などの役員・自営業主	4 正規の職員・従業員	7 契約社員・嘱託
2 自家営業の手伝い	5 アルバイト・パート	8 その他
3 自宅での貸仕事(内職)	6 労働者派遣事業所の派遣社員	

補問3-2 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 している	2 していない
--------	---------

問4は、すべての方がお答えください。

問4 あなたは、この1年間（平成16年11月～平成17年10月）に所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）をやめた経験がありますか。（仕事をやめた後、現在別の仕事についている場合も含みます。）あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 やめた経験がある 2 やめた経験がない -----▶ 問5へお進みください

補問4-1 この1年間（平成16年11月～平成17年10月）にやめた仕事について、その仕事についていた期間と就業形態をお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についていた期間 〔仕事についていた時期の早いものから順に記入してください。欄が足りない場合は、余白にご記入ください。〕	就業形態（あてはまる番号1つに○をつけてください。）								
		会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での質仕事（内職）	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所派遣社員	契約社員・嘱託	その他
1	1 昭和 年 月～ 平成 年 月 2 平成 年 月～ 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	平成 年 月～ 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	平成 年 月～ 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	平成 年 月～ 平成 年 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9

補問4-2は、1年前についていた仕事をその後、やめた方のみお答えください。
（現在、別の仕事についている方も含みます。）
それ以外の方は、問5へお進みください。

補問4-2 1年前（平成16年11月4日現在）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号1つを番号記入欄に記入してください。

なお、1年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事についてお答えください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 01 自分の希望する仕事ではなかったから | 14 健康がすぐれなかったから |
| 02 能力・実績が正当に評価されなかったから | 15 家族の介護のため |
| 03 給与・報酬が少なかったから | 16 家族が転勤したから |
| 04 労働時間が長かった・休暇が少なかったから | 17 育児休業がとりにくかったから |
| 05 独立・起業のため | 18 会社から出向・転籍を命じられたから |
| 06 通勤時間が長かったから | 19 希望退職に応じたから |
| 07 転勤が多かったから | 20 倒産したから |
| 08 一時的・不安定な仕事だったから | 21 解雇されたから |
| 09 人間関係がうまくいかなかったから | 22 契約期間が満了したから |
| 10 会社の経営方針に不満を感じたから | 23 初めから短期のつもりだったから |
| 11 事業又は会社の将来に不安を感じたから | 24 新しい仕事が見つかったから |
| 12 結婚したから | 25 勉強のため |
| 13 出産・育児のため | 26 その他（ <input type="text"/> ） |

主なものの番号記入欄

問5は、現在、会社等にお勤めの方（アルバイト、パート等も含む）のみお答えください。現在休業中の方も含まれます。

それ以外の方は、問6へお進みください。

問5 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等でああなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。
 なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどう ですか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 無給 3 わからない 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 無給 3 わからない 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

問6、問7は、この1年間に会社等にお勤めの経験がある方（アルバイト、パート等も含む）で、かつ、この1年間に小学校入学前だったお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。（現在、仕事についていない方も含みます。）

それ以外の方は、問8へお進みください。

問6 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用 (注)	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除はこちらに含まれます。)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問6-1 この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成 年 月から
平成 年 月まで

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問7 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ → 日
2 休んでいない

補問7-1 お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数 (注)	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1 年次有給休暇	日	日
2 子の看護のための休暇制度	日	日
3 欠勤扱い	日	日
4 その他	日	日

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問8～問10は、すべての方がお答えください。

問8 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。

1 卒業した -----> 平成 年 月 ----->	1 中学校 4 短大・高専 7 その他 2 高校 5 大学 3 専門学校 6 大学院
2 中退した -----> 平成 年 月 ----->	1 中学校 4 短大・高専 7 その他 2 高校 5 大学 3 専門学校 6 大学院
3 入学した -----> 平成 年 月 ----->	1 中学校 4 短大・高専 7 その他 2 高校 5 大学 3 専門学校 6 大学院
4 上記1～3のようなことはなかった	

問9 この1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次のような出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

なお、結婚・離婚や配偶者には事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。（以下の問についても同様です。）

1 結婚した ----->	配偶者の生年月 1 昭和 年 月生 2 平成 年 月生
2 離婚した	
3 配偶者と死別した	同居を開始した年月 平成 年 月
4 上記1～3のようなことはなかった	

問10 現在、配偶者はいますか。

1 いる -----> 現在、配偶者と同居していますか。
1 同居している 2 同居していない -----> 問12へお進みください
2 いない -----> 問11へお進みください

問11は問10で「配偶者がいない」とお答えになった方のみお答えください。

問11 今後、結婚したいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対したい	4 あまりしたくない
2 なるべくしたい	5 絶対したくない
3 どちらとも言えない	

問12～問13はすべての方がお答えください。

問12 子どもが（すでにいる場合は、もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対欲しい	→ 全部で何人欲しいですか。（すでにいるお子さんも含めてください。）	人
2 欲しい		
3 どちらとも言えない		
4 あまり欲しくない		
5 絶対欲しくない		

問13 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平 日	時間 分	休 日	時間 分
-----	--	-----	--

問14 は、お子さんがいらっしゃる方のみお答えください。
それ以外の方は問15へお進みください。

問14 子育てについて負担を感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 大いにある	2 多少ある	3 それほどでもない	4 ない
---------	--------	------------	------

問15～問19は、配偶者がいない方又は配偶者と別居している方のみお答えください。
配偶者と同居している方については質問は終了です。12頁の自由記載欄へお進みください。

問15 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

人（ご本人は含みません）

問16 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、(1)、(2)のみお答えください。）

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

問17 お子さんはいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる 2 いない-----▶問18へお進みください

補問17-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。(7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。)

		すべてのお子さんについて お答えください。		同居しているお子さんについて お答えください。																	
				現在の放課後児童(学童)クラブの利用の有無		現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。								現在、平日常に家族等と生活しているお子さんについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。							
性別	出生年月	同居の別		認可保育所(園)	事業所内託児施設	認可外保育施設(事業所内託児施設を除く)	ベビーシッター・保育ママ	ファミリー・サポート・センター	幼稚園が行っている預かり保育	幼稚園(預かり保育を除く)	利用していない	あなた	配偶者	あなたの父	あなたの母	配偶者の父	配偶者の母	その他の家族・親族	その他(友人・知人等)	いない (保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれません)	
1	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問18 あなたが平成16年1年間に働いて得た所得（税込み）及びその他の所得についてお答えください。

あなたと配偶者又はその他の家族で分けられない所得がある場合には、「(2) 分けられない所得」欄にまとめた金額を記入してください。

	平成16年1年間の所得	
	(1) あなたの所得	(2) 分けられない所得
働いて得た所得 (税込み)	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか 1 あなたと配偶者 2 あなたとその他の家族 3 配偶者とその他の家族 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし
その他の所得 (親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。)	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか 1 あなたと配偶者 2 あなたとその他の家族 3 配偶者とその他の家族 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし
うち、児童手当受給の有無 1 あり 2 なし		

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。

2) わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

問19 あなたが平成17年10月の1か月間に支出した額を下欄に記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成17年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 (2)、(3)を含む	万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用)	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 (幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用)	1 あり ↓ 金額 万 千円 2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

わからない場合は家族の方と相談してください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。

2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、
今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部

社会統計課縦断調査室

電話 (03)3595-2413

Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

※平成 17 年 7 月 1 日より国民生活基礎調
査室から上記へ組織名が変更になり、
電話番号が変わりました。



総務省承認 No. 26086
承認期限 平成18年3月31日まで

第4回 21世紀成年者縦断調査
国民の生活に関する継続調査
〔配偶者票（女性用）〕
(平成17年11月2日調査)

厚生労働省

地区番号					単位区番号				世帯番号			
------	--	--	--	--	-------	--	--	--	------	--	--	--

出生年月	1 昭和		年		月生
	2 平成				

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間(平成16年11月～17年10月)に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。)

1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2 病気やケガの治療のため入院した 平成 年 月～平成 年 月
3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事(学生アルバイトも含む)についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業(農業を含む)の手伝いや内職も含まれます。

1 仕事についている	補問2-1～2-2へ お進みください
2 仕事についているが、休業中(育児休業、介護休業など)である	
3 仕事についていない	
1 家事に従事している	問3へお進みください
2 通学している	
3 その他	

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

1 会社などの役員・自営業主	6 パート
2 自家営業の手伝い	7 労働者派遣事業所の派遣社員
3 自宅での賃仕事(内職)	8 契約社員・嘱託
4 正規の職員・従業員	9 その他
5 アルバイト	

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問2-2 就業時間等についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の就業時間	通常		時間
1週間の勤務日数	通常		日
1日の通勤時間	通常片道(往き)		時間 分

※ ふだんの1週間の就業時間について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※ 日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問3は、現在、会社等にお勤めの方（アルバイト、パート等も含む）のみお答えください。現在休業中の方も含みます。
それ以外の方は、問4へお進みください。

問3 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどう ですか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない → 2 無給 3 わからない → 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

問4、問5は、この1年間に会社等にお勤めの経験がある方（アルバイト、パート等も含む）で、かつ、この1年間に小学校入学前だったお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。（現在、仕事についていない方も含みます。）
それ以外の方は、問6へお進みください。

問4 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用 (注)	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除はこちらに含まれます。)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問4-1 この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成 年 月から
平成 年 月まで

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問5 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ → 日
2 休んでいない

補問5-1 お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数 (注)	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1 年次有給休暇	日	日
2 子の看護のための休暇制度	日	日
3 欠勤扱い	日	日
4 その他	日	日

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問6は、配偶者と同居している方のみお答えください。
それ以外の方は問7へお進みください。

問6 あなたの配偶者はふだん家事・育児を行っていますか。

1 している 2 していない

問7～問14は、すべての方がお答えください。

問7 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した----	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
	2 高校	5 大学	
	3 専門学校	6 大学院	
2 中退した----	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
	2 高校	5 大学	
	3 専門学校	6 大学院	
3 入学した----	1 中学校	4 短大・高専	7 その他
	2 高校	5 大学	
	3 専門学校	6 大学院	
4 上記1～3のようなことはなかった			

問8 子どもが（すでにいる場合は、もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対欲しい	全部で何人欲しいですか。（すでにいるお子さんも含めてください。）	人
2 欲しい		
3 どちらとも言えない		
4 あまり欲しくない		
5 絶対欲しくない		

問9 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平 日	時間 分	休 日	時間 分
-----	--	-----	--

問10 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

人（ご本人は含みません）

問11 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

問12 お子さんはいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる

2 いない-----▶問13へお進みください

補問12-1 お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。(7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。)

同居しているお子さんについて
お答えください。

小学校入学前のお子さんについて
お答えください。

すべてのお子さんについて
お答えください。

性別	出生年月	同別居の別	現在の放課後児童(学童)クラブの利用の有無	現在、利用している保育サービス等すべてに○をつけてください。								現在、平日常に家族等と同居しているお子さんについてお答えください。								
				認可保育所(園)	事業所内託児施設	認可外保育施設(事業所内託児施設を除く)	ベビーシッター・保育ママ	ファミリー・サポート・センター	幼稚園(預かり保育を除く)	幼稚園が行っている預かり保育	利用していない	あなた	配偶者	あなたの父	あなたの母	配偶者の父	配偶者の母	その他の家族・親族	その他(友人・知人等)	いない (保育サービス等の利用のみ)
1 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
2 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
3 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
4 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
5 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	
6 男	1 昭和 2 平成	1 同居	1 あり	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2 女	年 月	2 別居	2 なし																	

補問12-2 子育てについて負担を感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 大いにある

2 多少ある

3 それほどでもない

4 ない

問13 あなた及び配偶者が平成16年1年間に働いて得た所得（税込み）及びその他の所得についてお答えください。

あなたと配偶者又はその他の家族で分けられない所得がある場合には、「(3) 分けられない所得」欄にまとめた金額を記入してください。

配偶者が別居している場合には、「(1) あなたの所得」と「(3) 分けられない所得」のみお答えください。

平成16年1年間の所得			
	(1) あなたの所得	(2) 配偶者の所得	(3) 分けられない所得
働いて得た所得 (税込み)	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか 1 あなたと配偶者 2 あなたとその他の家族 3 配偶者とその他の家族 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし
その他の所得 (親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。)	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか 1 あなたと配偶者 2 あなたとその他の家族 3 配偶者とその他の家族 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし
うち、児童手当受給の有無 1 あり 2 なし			

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。

2) わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

問14 あなた及び配偶者が平成17年10月の1か月間に支出した額を下欄に記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成17年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 (2)、(3)を含む	万 千円
(2) うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用)	1 あり ↓ 金額 万 千円
	2 なし
(3) うち、お子さんの教育費 (幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用)	1 あり ↓ 金額 万 千円
	2 なし
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。

2) 千円未満は四捨五入してください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますの
で、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部

社会統計課縦断調査室

電話 (03)3595-2413

Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

※平成17年7月1日より国民生活基礎調
査室から上記へ組織名が変更になり、
電話番号が変わりました。



総務省承認 No. 26087
承認期限 平成18年3月31日まで

第4回 21世紀成年者縦断調査
国民の生活に関する継続調査
〔配偶者票（男性用）〕
(平成17年11月2日調査)

厚生労働省

地区番号						単位区番号						世帯番号				
出生年月		昭和				年				月生						

(お願い) お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1 あなたはこの1年間（平成16年11月～17年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

- 1 慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
- 2 病気やケガの治療のため入院した
平成 年 月～平成 年 月
- 3 上記1、2のようなことはなかった

問2 あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含まれます。

- 1 仕事についている
 - 2 仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である
 - 3 仕事についていない
- 補問2-1～2-2へお進みください
- 1 家事に従事している
- 2 通学している
- 3 その他
- 問3へお進みください

補問2-1 それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 会社などの役員・自営業主 | 6 パート |
| 2 自家営業の手伝い | 7 労働者派遣事業所の派遣社員 |
| 3 自宅での賃仕事（内職） | 8 契約社員・嘱託 |
| 4 正規の職員・従業員 | 9 その他 |
| 5 アルバイト | |
- 勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問2-2 就業時間等についてお答えください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

1週間の就業時間	通常		時間
1週間の勤務日数	通常		日
1日の通勤時間	通常片道（往き）		時間 分

※ ふだんの1週間の就業時間について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※ 日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した1日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問3は、現在、会社等にお勤めの方（アルバイト、パート等も含む）のみお答えください。現在休業中の方も含みます。
それ以外の方は、問4へお進みください。

問3 あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等でああなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な 次の制度等がありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制 度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどう ですか。
(1) 育児休業制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(2) 子の看護のための休暇制度 (ある場合には、有給・無給の別にもお答えく ださい。)	1 ある → 1 有給 2 ない 2 無給 3 わからない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(3) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除は、こちらに含まれます。)	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(4) 育児のための時間外労働の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(5) 育児のための深夜業の制限	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない
(6) 事業所内託児施設	1 ある → 2 ない 3 わからない	1 利用しやすい雰囲気がある 2 利用しにくい雰囲気がある 3 どちらともいえない

問4、問5は、この1年間に会社等にお勤めの経験がある方（アルバイト、パート等も含む）で、かつ、この1年間に小学校入学前だったお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。（現在、仕事についていない方も含みます。）
それ以外の方は、問6へお進みください。

問4 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号1つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用 (注)	以前にお勤めの会社等での利用
(1) 育児休業制度	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(2) 育児のための勤務時間の短縮等 (残業の免除はこちらに含まれます。)	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(3) 育児のための時間外労働の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(4) 育児のための深夜業の制限	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし
(5) 事業所内託児施設	1 あり 2 なし	1 あり 2 なし

補問4-1 この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成 年 月から
平成 年 月まで

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問5 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1 休んだ → 日
2 休んでいない

補問5-1 お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数 (注)	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1 年次有給休暇	日	日
2 子の看護のための休暇制度	日	日
3 欠勤扱い	日	日
4 その他	日	日

注)「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

問6～問8は、すべての方がお答えください。

問6 あなたはこの1年間（平成16年11月～平成17年10月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号1つに○をつけてください。（お子さんに関するのではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1 卒業した →	<table border="1"> <tr> <td>1 中学校</td> <td>4 短大・高専</td> <td>7 その他</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>5 大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>6 大学院</td> <td></td> </tr> </table>	1 中学校	4 短大・高専	7 その他	2 高校	5 大学		3 専門学校	6 大学院	
1 中学校	4 短大・高専	7 その他								
2 高校	5 大学									
3 専門学校	6 大学院									
2 中退した →	<table border="1"> <tr> <td>1 中学校</td> <td>4 短大・高専</td> <td>7 その他</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>5 大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>6 大学院</td> <td></td> </tr> </table>	1 中学校	4 短大・高専	7 その他	2 高校	5 大学		3 専門学校	6 大学院	
1 中学校	4 短大・高専	7 その他								
2 高校	5 大学									
3 専門学校	6 大学院									
3 入学した →	<table border="1"> <tr> <td>1 中学校</td> <td>4 短大・高専</td> <td>7 その他</td> </tr> <tr> <td>2 高校</td> <td>5 大学</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 専門学校</td> <td>6 大学院</td> <td></td> </tr> </table>	1 中学校	4 短大・高専	7 その他	2 高校	5 大学		3 専門学校	6 大学院	
1 中学校	4 短大・高専	7 その他								
2 高校	5 大学									
3 専門学校	6 大学院									
4 上記1～3のようなことはなかった										

問7 子どもが（すでにいる場合は、もう1人）欲しいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 絶対欲しい	全部で何人欲しいですか。（すでにいるお子さんも含めてください。） 人
2 欲しい	
3 どちらとも言えない	
4 あまり欲しくない	
5 絶対欲しくない	

問8 あなたは1日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平日	時間 分	休日	時間 分
----	--	----	--

問9 は、お子さんがいらっしゃる方のみお答えください。
それ以外の方は問10 へお進みください。

問9 子育てについて負担を感じていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 大いにある 2 多少ある 3 それほどでもない 4 ない

問10～問14は、配偶者と別居している方のみお答えください。
配偶者と同居している方については質問は終了です。8頁の自由記載欄へお進みください。

問10 現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

	人（ご本人は含みません）
---	--------------

問11 あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

(1) あなたの父親	1 同居	2 別居	3 死別
(2) あなたの母親	1 同居	2 別居	3 死別
(3) 配偶者の父親	1 同居	2 別居	3 死別
(4) 配偶者の母親	1 同居	2 別居	3 死別

問12 同居しているお子さんはいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 いる

2 いない-----▶問13へお進みください

補問12-1 同居しているお子さんについて、年齢の高い順に記入してください。(7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。)

すべてのお子さんについて お答えください。			小学校入学前のお子さんについて お答えください。																	
性 別	出 生 年 月	現在の放課後児童(学童)クラブの利用の有無	現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。								現在、平日常に日中に世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。									
			認可保育所(園)	事業所内託児施設	認可外保育施設(事業所内託児施設を除く)	ベビーシッター・保育ママ	ファミリー・サポート・センター	幼稚園が行っている預かり保育	幼稚園(預かり保育を除く)	利用していない	あなた	配偶者	あなたの父	あなたの母	配偶者の父	配偶者の母	その他の家族・親族	その他(友人・知人等)	いない (保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます。)	
1	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 年 月	1 あり 2 なし	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問13 あなたが平成16年1年間に働いて得た所得（税込み）及びその他の所得についてお答えください。

あなたと配偶者又はその他の家族で分けられない所得がある場合には、「(2) 分けられない所得」欄にまとめた金額を記入してください。

平成16年1年間の所得	
(1) あなたの所得	(2) 分けられない所得
働いて得た所得（税込み） 1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか 1 あなたと配偶者 2 あなたとその他の家族 3 配偶者とその他の家族 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし
その他の所得 （親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。） 1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 2 なし	1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万円 ↓ 分けられないのはどなたの所得ですか 1 あなたと配偶者 2 あなたとその他の家族 3 配偶者とその他の家族 4 あなたと配偶者とその他の家族 2 なし
うち、児童手当受給の有無 1 あり 2 なし	

注：1) 1万円未満は四捨五入してください。
2) わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

問14 あなたが平成17年10月の1か月間に支出した額を下欄に記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

平成17年10月の1か月間の支出	
(1) 支出額 (2)、(3)を含む	□ □ □ □ 万 □ □ 千円
(2) うち、お子さんの保育料 (小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用) 1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万 □ □ 千円 2 なし	
(3) うち、お子さんの教育費 (幼稚園、放課後児童(学童)クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用) 1 あり ↓ 金額 □ □ □ □ 万 □ □ 千円 2 なし	
(4) 親や兄弟など他の家族の支出との区別	1 できる 2 できない

注：1) 支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。
2) 千円未満は四捨五入してください。
3) わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとめ次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、みなさまにとって身近な課題に
取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますの
で、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課縦断調査室
電話 (03)3595-2413
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

※平成17年7月1日より国民生活基礎調
査室から上記へ組織名が変更になり、
電話番号が変わりました。